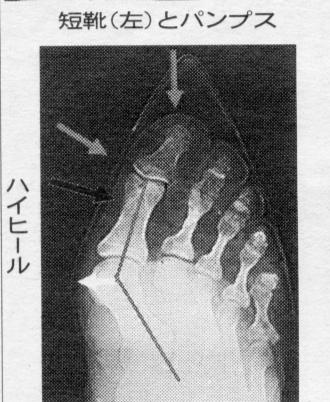




盛大に開かれた30周年記念式典



靴と外反母趾



短靴(左)とパンプス



ハイヒール

日本教育シユーズ協議会(JES)は、76年の設立以来、教育の価値の高い学校シユーズの研究・開発と普及を手がけてきた非営利団体だ。7月14日には設立30周年を祝う記念行事が、石野利和・文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課長など多くの来賓・参加者を迎えた横浜市の横浜ロイヤルパークホテルで行われた。当日の記念式典の様子と日本靴医学会理事長の井口傑・慶應義塾大学教授による特別講演「子供の足育む靴」の抄録を紹介する。加えて、特別講演会の座長を務めた江口篤壽・筑波大学名誉教授が委員長として報告した(財)日本学校保健会「足の健康に関する調査研究委員会」の最新動向も収載する。

「子供の足・育む靴」特別講演

日本靴医学会理事長
慶應義塾大学総合医科学
研究センター・整形外科

井口 傑教授



ヒト直立歩行300～600万年
靴を履き始めてまだ300年

日本教育シユーズ協議会JES創立30周年

10歳以下でも 中高生と60歳超 外反母趾 陷入爪ヒーク

報告レポート

(座長)江口 篤壽氏

筑波大学名誉教授

江口篤壽氏

日本学校保健会は01年に(財)日本学校保健会「足の健康に関する調査研究委員会」を設置し、学校の先生方や保護者の皆さまに児童生徒の発育・発達に注目して、足の健康と靴の適切な使用法について調査研究を行っています。

小中高生の足長・足幅など三次元計測器で2400人足の成長発育を実態調査

江口篤壽氏

江口篤壽氏